

# 日高高等学校中津分校

実施日時	令和4年1月18日(火)
参加者	生徒39名、教職員11名、日高川町防災センター職員2名 計52名
実施内容	日高川町防災センター・・・災害に関する講話、パーティション作成、消火体験、水圧体験、通報シミュレーション、紀伊半島大水害・阪神淡路大地震のパネル学習 学校・・・避難訓練、避難所運営ゲーム、防災DVD視聴、振り返り

## ねらい

自然災害に備えて防災意識を高め、地域防災の担い手として社会貢献できる高校生の育成を目指す

## 主なプログラム

- 1 避難訓練
- 2 日高川町防災センターにおける体験・見学
- 3 避難所運営ゲームを用いた防災学習
- 4 防災DVD視聴

## 概要

生徒を2班に分けて、日高川町防災センターと学校で実施し、午前と午後に分けて交代する。

- 1 学校
  - ・大地震の後に火災が発生した想定で避難訓練を行う。
  - ・きいちゃん災害避難所運営ゲームで防災学習
  - ・DVD視聴(命を守る～大災害の教訓～)
  - ・振り返り
- 2 日高川町防災センター
  - ・防災に関する講話
  - ・センター施設を利用した体験及び見学

## 参加者感想文

- ・自分の身を守り、素早く行動しなければいけないと思いました。
- ・いつもと変わらない日常生活の中に、急に地震が起こり、命の危険にさらされると再認識する

良い機会になりました。

- ・高校生なので避難することだけでなく、運営する大変さを知ることができた。
- ・とても勉強になった。災害が起こった時はみんなの手を取り合って助け合おうと思いました。
- ・いつでも避難できるように、さまざまな避難準備をしておく必要があると思った。
- ・避難所運営ゲームを初めてやって、案外驚くことが多かった。
- ・災害には「ここは大丈夫」ということはなく、どの場所であっても、より安全な場所を求めて行動しようと思った。

## 成果と課題

### 【成果】

- ・防災センターでは、災害に関する講話や体験、見学し、防災意識を高めることができた。阪神淡路大地震、紀伊半島大水害のパネルを見て、災害を身近に感じることができた。
- ・災害においては、まず自分の身を守り、その後の行動について考える機会になった。

### 【課題】

- ・コロナ感染拡大予防のため、実施日の変更を余儀なくされた。今後は、地域の実情をふまえ、本校生徒がリーダーとなるような、体験や研修を行う必要がある。